オプス・デイの属人 区長からのクリスマ スのご挨拶(2021 年)

オプス・デイの属人区長、フェルナンド・オカリスマスのは、2021年のクリスマスの挨拶をします。「幼子を見るの目で神の愛を見がと、信仰の目で神の愛を見がと、(...) その瞬間に神が変情を込めて私たちを見っていることを知っていることです。

待降節の最後の数日間、クリスマス を間近に控えた今、主の到来を祝う ために、もっと良く準備したいと 思っていることでしょう。黙示録の 最後の言葉を思い出すこともできる でしょう。それは、主の再臨を語っ ていますが、同時に恒久的な言葉で もあります。「主イエスよ、来てく ださい!| 主が、クリスマスの祝い とともに来てくださいますように。 しかし、何よりも、私たちの魂に絶 えず来てくださいますように。特 に、毎日の聖体において来てくださ いますように!「主イエスよ、来て ください!」。

そして、この望みは、言葉にしなくても、もう一つの望みと結ばれるでしょう。それは、待降節に思い出す洗礼者聖ヨハネの呼びかけです。

「主の道を整え、その道をまっすぐにせよ」「まっすぐに」しましょう。なぜなら、主の到来は、私たちの準備にかかっているからです。私たちの心や魂の道を、主に開きましょう。日常の中で、祈りと仕事を通して準備しましょう。

そして、もうクリスマスのことを考 えましょう。

キリストの誕生は、まことに偉大な神秘です。私たちのために、神が赤ちゃんになったのです。クリスマリスの典礼では、イザヤの言葉が繰子が出ます。「私たちのために生まれた」、「私たち」と、複数形に生まなた」。「私たち」と、複数形になっています。これは重要ですが、確からに、私たち皆のためなのです。

この感覚でクリスマスを過ごし、すべての人との一致、交わりを強めましょう。家族において。私たちは家

族の年を、教会という大きな家族な中で祝っています。そして、教会において、すべての人の父であり、頭である教皇と共に祝っています。

そして、主が「生まれた」のは、すべての人のため、つまり全世界のためでもあるのです。聖ホセマリアが教えたように、多くの人が私たちっていることを考えましょう。今、まだ多くの場所でいるよいデミックのために苦しんでいます。主は、彼らのためにもお生まれになったのです。

神が赤ちゃんとなったこと。それは神秘です。信仰によって受け入れるべき神秘です。クリスマスの季節、 馬小屋のご誕生の場面に、幼子を見 つめます。

幼子を見ることは、私たちに対する 神の愛を信仰の目で見ることです。 幼子を見つめるなら、驚くべきこと に気づくでしょう。それは、聖ホセ マリアがある説教で語ったことで す。「私たちは常に愛の眼差しで神 に見つめられていることを知るので す1。互いに見つめ合うのです。私 たちは幼子を見つめますが、それと 同時に、神は愛深く私たちを見つめ てくださっているのです。これを知 れば、私たちの限界や困難にもかか わらず、力が湧いてくるでしょう。 私たちは常に神に愛されていること を知る。しかし、それには信仰が必 要であり、使徒たちがイエスに願っ たように、「信仰を増してくださ い」と願うことが必要です。

主へのまなざしの中で、クリスマリスと共の中で、クリスときませていることを見つめることができまずで見つか見つが見つが見つが見つが見いたように、そしていたちもりできるとができるよう願いましょう。幼子とができるよう願いましょう。幼子

に神の私たちへの全面的な愛を見る なら、安心感と喜びが与えられるで しょう。

そうです。クリスマスは喜びの内に 過ごしましょう。しかし、喜びの内 に生きることは、苦しみと両立する ものです。なぜなら、私たちは苦し みながらも、同時に幸せになれるか らです。矛盾に見えますが、これは 真理であり、神の恵みによって可能 になるのです。

皆さん、メリークリスマス!神が皆 さんにを祝福してくださいますよう に!

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/zokujinkuchou-kurisumasu-aisatsu-2021/(2025/11/27)